

AKITA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

春よ来い 早く来い

表彰報告

パラリンピック2021 医療スタッフ紹介 Vol.1

秋田県理学療法士会と災害支援① 東日本大震災、10年前を振り返る
部長だより・会長のうごき

秋田県理学療法士会ニュース 2021 Vol.199 Mar.



発行：公益社団法人 秋田県理学療法士会

会長：菅原 慶勇 責任編集：加賀屋勇氣

事務局：〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40

TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org

ホームページ <http://www.ptakita.org>

印刷：(株)秋田情報プリント

表彰

第49回 医療功労賞 受賞 伊藤 清明 氏

医療功労賞は、地域医療への貢献者を顕彰する目的で読売新聞社によって1972年(昭和47年)に設立されました(厚生労働省、日本テレビ放送網後援、損保ジャパン日本興亜協賛)。地域や発展途上国での医療に献身してこられた先生方を称える由緒ある賞です。

昨年の48回では願法廣典氏が受賞されました。2年連続で理学療法士が受賞するということは例を見ないことで、秋田県士会としても大変名誉なことです。

～ 受賞のことば ～

この度は、第49回医療功労賞の受賞という事で、驚くと同時に感激で胸がいっぱいでありませぬ。本来なら私よりも先に受賞すべき先輩もいらっしゃる中で、私のような者が受賞したことは、本当に僭越に感じております。ご推薦くださいました秋田県理学療法士会の菅原慶勇会長並びに理事の皆様と申請に多大なご尽力をいただきました表彰選考委員会の皆様、そして会員の皆様の特段のご厚情に心より感謝申し上げます。

私は、昭和52年に中通リハビリテーション病院に入職しました。当時、秋田県内の理学療法士は十数名で、頻回に有志が集まって終業後の夜遅くまで勉強会を行っていたことを思い出します。私は、リハ専門病院に入職したことで退院前の家庭訪問や退院後の訪問指導などを、入職して早い時期から業務として行ってきました。また、様々な患者会への活動の支援なども

積極的に行ってきました。その他、秋田市のリハビリ学級に関わり、介護保険法施行に合わせて介護支援専門員指導者としても関わらせていただきました。

中通リハビリテーション病院を役職定年後、中通総合病院で幅広い疾病のリハビリを経験し、その後訪問看護ステーションで在宅のリハビリを10年以上経験してきました。在宅では病院のように訓練機器がありませんので、物づくりが好きな私は、自分で色々工夫してセラピスト一人でも訓練場面を再現できるような、簡単な道具作りもしてきました。現在は市内のサ高住に週3回勤務しておりますが、100歳近いご高齢の方々の介護予防となるような運動など指導しながら一緒に動いております。



伊藤 清明 氏 表彰状とともに

報告



今感じることは、我々は人を相手とする仕事ですので、いつまでも相手となる方々やご家族から教えられることがあるという事です。いまだにご高齢の方々に教えられたり、気づかされたりすることが多くあります。本当に生涯学習という事だと思います。

私は、臨床一筋で今まで歩いて来ましたが、月並みではありますがこれからも体と相談しながらできるだけ長く理学療法士としての仕事を続けていきたいと思っております。

本当にこの度は有難うございました。今後の秋田県理学療法士会の発展をお祈りして、私の受賞の言葉とさせていただきます。

伊藤清明

令和2年度 医療功労賞 受賞 山内 康子 氏

環境・保健事業功労者(医療功労者)表彰とは、秋田県民の健康づくり、衛生水準の向上及び生活環境の改善に貢献されている功労者の表彰を行い、県民の健康づくりや衛生・環境等に対する意識高揚を図るものです。今年、臨床に加え、県士会での長年の活動や、介護認定審査会の委員を歴任されるなど幅広いご活躍をされてきた山内康子氏が表彰されました。

～ 受賞のことば ～

この度は、県士会から推薦頂きありがとうございました。大した功績も無い私ですが、30数年間、患者さんや利用者さんに寄り添い、誠実に理学療法業務を遂行してきた事を評価して頂けたのかなと思います。この受賞を糧に、元気なうちは、地域住民の健康維持に少しでも貢献したいと思います。また、苦楽を共にした職場の方々、この場をお借りし、感謝申し上げます。

リンデンバウムいずみ 山内康子



山内 康子 氏 表彰式にて 菅原会長とともに

今年度はこの他にも、士会員の表彰のニュースが多く届いております。中通総合病院の**大場みゆき氏**が**2019年度協会賞**を受賞されました。さらに日本理学療法士協会でも新設された**永年会員表彰**を、**伊藤日出夫氏**と**佐藤フヨ氏**のお二方が受賞されました。残念ながら、コロナ禍で表彰式等が行えておりませんが、秋田県士会は受賞者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

パラリンピック 2021

多くの問題を抱えながらも、間近に迫ってきた東京オリンピック・パラリンピック。秋田県士会員からも7名がパラリンピックの医療スタッフとして携わる予定です。今回と次回で、パラリンピックのサポートに携わる予定となっている方々に、競技の内容と、意気込みを伺いました。



パラアーチェリー × 山内 真

(中通総合病院)



競技紹介

パラリンピックでは、一般的なりカーブと先端に滑車の付いたコンパウンドの2種類の弓が使用されます。70mまたは50m先的的に向かって矢を放ち、得点を競います。決勝トーナメントはプレッシャーのかかる1対1の対戦方式で、メンタルの強さが重要です。口や足部を使用し競技する選手もおり制限時間内に矢を正確に打ち続ける集中力も必要となる競技です。

意気込み

私が理学療法士という職業を知ったのはスポーツがきっかけであり、スポーツに関わる仕事がしたいと思いこの職業を選びました。パラリンピックは世界で最も大きなスポーツの祭典であり、自国開催の医療スタッフとして参加できるのは一生に一回のチャンスだと思います。大会参加に向けて不安材料もありますが、しっかりとトレーニングを積み選手と同様にベストを尽くしたいと思います。



パラ射撃 × 勝間 伸夫

(つつみ整形外科)

競技紹介

パラリンピックの射撃は肢体不自由な選手を対象に行われ、オリンピック同様「ライフル」と「ピストル」の2種目に分けられます。最長で50m先的的を狙うこともあるので、高い技術と集中力が必要な競技です。また定めた照準をぶらさないようさまざまな「制御」が必要で、呼吸のリズムと撃発のタイミングを合わせることや、集中力を保つために何事にも動じない感情の制御も大事なポイントの一つ。プレッシャーに負けず練習通りのパフォーマンスを発揮できるかが勝負のカギ。自分自身と戦い究極のプレッシャーに打ち勝つ姿をぜひご覧ください。

(TOKYO2020射撃 競技紹介より)



意気込み

理学療法士として、アスレティックトレーナーとして、オリンピックだからと特別な準備は考えていません。ただオリンピックまでしっかり準備して、最高のプレーを発揮出来るようにしている選手をサポートする機会はそうそうありません。自分の持っている知識、経験、技術を最大限活かすのみだと思っています。ただ心配なのは言葉の壁があるので、こつこつスピードラーニング聴いておきます。ノンバーバルコミュニケーションのみにならないように開催されることを信じて共に乗り越えましょう、see you!

医療スタッフ紹介

Vol.1



パラパワーリフティング×近藤友加里

(中通リハビリテーション病院)

競技紹介

下肢に障がいがある方が対象で、体重別（男女各10階級）に分かれてパワーを競います。選手はベンチ上で仰臥位となり、両脚を伸ばしたポジションで競技を行います。上半身の世界No.1決定戦！競技会場の独特な緊張感...一瞬に全てをかける選手の勇姿に、心を奪われること間違いなしです！

<競技の流れ・ルール>

- ①「Bar is loaded! (準備完了!)」の主審の掛け声で選手入場
2分以内にベンチ台に移り脚にベルトを巻いて体を固定、バーを持って腕を伸ばす。
- ②「Start! (競技開始!)」の合図で試技を開始
胸でバーをピタッと止めた後、左右バランス良くバーを押し上げて腕を伸ばす。
- ③「Rack! (バーを戻せ!)」の掛け声でバーを戻す

<記録> 3回の試技の中で成功した1番重い記録が採用される。

<判定> 3人の審判がそれぞれ判断し白（成功）または赤（失敗）の旗を挙げる。白が2人以上で成功と判定。バーベルが傾いたり途中で下がったりすると失敗になる。



意気込み

オリンピック・パラリンピック母国開催にあたり、PTという立場で参加させていただけることになり大変嬉しく思います。この貴重な経験を、今後の県内におけるパラスポーツ活動の発展に活かせるよう、しっかりと事前準備をしてサポート活動に臨みたいと思っております。



パラカヌー×川崎 敦

(大曲整形外科)



競技紹介

パラカヌーは2016年のリオデジャネイロ大会から正式競技として採用されました。この競技は200mのスプリントで競います。障害の程度によってL1（体幹が機能せず上肢の機能だけでこぐことができる選手）、L2（体幹と上肢を使ってこぐことができる選手）、L3（下肢、体幹、上肢を使うことができ、力を入れて踏ん張るまたは腰かけて艇を操作できる選手）の3つのクラスに分かれます。種目は、カヤックとヴァーがあり、カヤックは、両端にブレード（水かき）のついたパドル（櫂）を左右交互にこぎながら艇を前に進めます。ヴァーは、本体の横にバランスをとるための浮き具がついている艇で、左右どちらか片方のみをこぎながら艇を前に進めます。

意気込み

理学療法サービスを行うにあたり、技術だけではなく海外の選手とのコミュニケーションがとれるかが重要になってきます。どこをどうしてほしいか、何を望んでいるのかなど主訴を確実に聴取しないと適切な理学療法サービスを提供することができません。英語だけではなく様々な言語圏の選手に対応しますが、とりあえず世界共通語である英語を毎日の通勤時にスピードラーニングを聞いて勉強しています。このご時世ですのでまずは大会自体が開催されることを祈っております。

秋田県理学療法士会 と 災害支援 ①

早いもので東日本大震災から10年が経過しましたが、秋田県の災害リハビリ体制はまだた環境で当会が被災地の方々への具体的な活動を皆様にお伝えしたいと思います。

東日本大震災の概要について



2011年3月11日14時46分頃に発生。三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東130km付近で、深さ約24kmを震源とする地震でした。マグニチュード9.0。これは、日本国内観測史上最大規模、アメリカ地質調査所(United States Geological Survey: USGS)の情報によれば1900年以降、世界でも4番目の規模の地震で本震による震度は、宮城県北部の栗原市で最大震度7が観測された他、宮城県、福島県、茨城県、栃木県などでは震度6強を観測しました。

被害状況等は総務省消防庁のまとめによると2020年3月1日時点で死者19,729人、行方不明者2,559人、負傷者6,233人。また、復興庁のまとめによりますと、2021年1月29日現在、41,781人の方々がいまだ様々な形で避難生活を送っています。

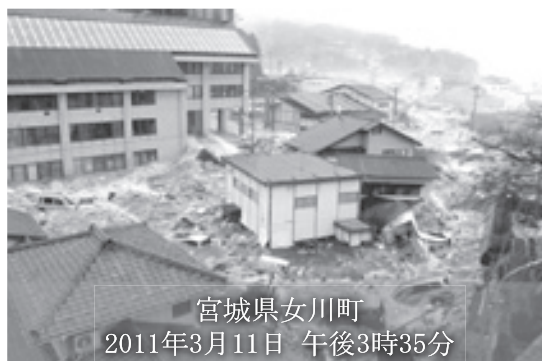
ちなみに・・・

先日2021年2月13日の福島沖の地震は皮肉にも東日本大震災の余震と言われています。マグニチュード7.3・震度6強と当時を経験した事のある人々に不安を与えた事は記憶に新しいですね。

今回の地震でも高速道路の土砂災害や新幹線への被害など影響は大きかったですがそれを上回る災害規模であった事は言うまでもないところです・・・。

被害拡大の背景 ～津波の恐怖～

国内で過去最大の津波とされてきた明治三陸地震(1896年)による津波を超えました。岩手県野田村から同県宮古市にわたる約40kmの海岸線の多くで、津波の到達した高さが20m以上に及び、5カ所で30mを超えました。住宅、船、町をのむ津波は、車ごと押し寄せ、町ごとのみ込みました。この時、1名の理学療法士が、車椅子の女性を助けようとして犠牲になりました・・・。



東日本大震災、10年前を振り返る

災害医療派遣検討委員会 委員長 成田 研

十分とは言えず発展途上です。そこで今回は10年前、多方面にわたる甚大な被害を受け

日本理学療法士協会の動向

(日本理学療法士協会 災害対策本部活動履歴より 一部抜粋2011年10月18日)

期間 (2011年)	日本理学療法士協会 被災地派遣ボランティア活動履歴
3月14日	ボランティア派遣計画発表(FAX通信)
3月18日	災害ボランティア(15団体合同)募集開始(FAX通信・協会HP) ボランティア派遣日程 変更
4月 2日	(独)労働者健康福祉機構へ歩行補助具の寄付依頼 生活機能対応専門職チーム 派遣ボランティア団結式・研修会 開催
4月 4日	宮城県仙台市支援チーム第1班 現地支援開始
4月10日	岩手県での支援活動開始予定
6月27日	宮城県仙台市支援チーム対応地域が 宮城県北部地域・気仙沼から南三陸へ変更
9月10日	宮城県支援チーム 活動終了
9月30日	岩手県支援チーム 活動終了

派遣支援スタッフ人数 岩手県62人 宮城県46人

秋田県理学療法士会の動向

①会長行動録 (秋田県理学療法士学会 2013年度日本理学療法士協会の震災支援活動報告より)

期間 (2011年)	震災当時、会長だった高橋 仁美先生の行動履歴
3月22日	半田協会長と盛岡市へ
3月27日	仙台市へ
4月 2日	
4月16日	半田協会長と盛岡市へ(緊急会議)
4月29日	仙台市へ
5月21日	盛岡市で東北ブロック理事会
5月26日	宮崎で緊急全国会長会議
6月30日	岩手への長期支援のための被災地視察 陸前高田市 → 大船渡市 → 釜石市 → 大槌町 → 山田町 → 宮古市

災害対策ボランティア説明会 高橋会長スライドより作成

②震災対策支援チームの支援活動概要

秋田県理学療法士会では、羽後町立羽後病院の斎藤 功氏が震災支援チームを統括して震災ボランティアを募り、「岩手県理学療法士会の災害支援リハビリテーション」の支援を2011年8月29日から2ヶ月間活動しました。活動場所は数少ないリハビリテーション資源が震災により機能停止に追い込まれてしまった下閉伊郡山田町でした。活動方針として隣接する関係者との連携を重視し、将来的にリハビリテーション業務が円滑に執り行われる事を目指す事とし被災者の廃用症候群予防ならびに身体機能が低下した方への回復支援を目的に活動しました。

③震災対策支援チームの主な活動と動向

主なる活動内容は仮設住宅への訪問リハビリテーションで、岩手県理学療法士会員1名と当会ボランティア1名の合計2名で1週間毎に交代しながら9週にわたり継続しました（ボランティア登録11名、うち9名に支援していただきました）。山田町では2011年9月より仮設住宅設置が100%となり1日2件～6件程度お伺いして、身体状況の確認やサービス内容の変化・廃用症候群の予防対策などを行いました。支援活動の基盤は岩手県理学療法士会により確立されていたため、我々は活動に専念することができました。

期間 (2011年)	秋田県理学療法士会 震災対策チーム 活動の流れ
7月 4日	岩手県下閉伊郡山田町 現地視察(斎藤・成田)
7月 5日～	震災支援ボランティア公募
7月16日	東北被災地会議(盛岡市：斎藤・成田参加)
8月22日	震災支援ボランティア説明会(会場：秋田大学)
8月29日	第1回 震災支援ボランティア 開始
10月28日	第9回 震災支援ボランティア(秋田最終) 終了 青森県理学療法士会へ引き継ぎ

東日本大震災以降の秋田県理学療法士会の 災害関連活動について

○2012年7月22日に秋田県主催の第2回秋田県内避難者情報交換・交流会が実施され、生活不活発病に対する支援相談ブースを設け、パンフレット配布・体操のデモンストラーションを実施しました。

○2012年11月2日、3日に岩手県下閉伊郡山田町に震災支援後の最終視察を行いました。

○2013年7月～当会会員の菅原巳代治氏が岩手県宮古市の「訪問リハビリステーション ゆずる」開設に際し派遣要請を受けて勤務されました（元秋田県作業療法士会の会員も1名スタッフとしてご尽力なされました。）。

○2016年12月の当会理事会にて災害対策の特別委員会が承認されました。そして、翌年2017年に災害医療派遣検討委員会が正式に設置され、現在の活動に至っております。

～語り継ぎたいエピソード～

一人の勇気ある理学療法士を飲み込んだ津波と

「訪問リハビリステーション ゆずる」

岩手県下閉伊郡山田町は巨大津波に加え大規模な火災も発生し、2012年2月27日時点で死者770名でしたが、そのうちの1名は我々と同じ理学療法士でした。介護老人保健施設に勤務されていた加藤譲（かとうゆずる）さん（当時30歳）は勤務先が津波に襲われた時に、一度高台に避難されたにも関わらず入所者を助けるために、再び建物に戻り津波に流されお亡くなりになりました…。

その後、東日本大震災復興特別区域法を活用し訪問リハビリステーション「ゆずる」が岩手県宮古市にも開設されました。事業所名の“ゆずる”は、東日本大震災において車椅子の女性を避難させようとして津波に巻き込まれた理学療法士 加藤譲さんから名前を頂いたもので、最後まで人のために生きようとした思いを継ぎ、復興に貢献したいという切なる思いが込められています。ゆずるさんのご冥福をお祈りします…。

最後になりますが、震災当時ボランティア登録していただきました秋田県理学療法士会員の方々を初め、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。そして、これからも当会の災害リハビリテーションへのご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。引き続き、災害支援についての情報を発信してまいりたいと思います。

東日本大震災、
10年前を振り返る

第25回秋田県理学療法士学会

スポーツ理学療法 —ケガの予防について考える—

令和3年6月26日(土) ONLINE 開催 (Zoom)

参加費：無料 (要事前申し込み)

詳細を県士会HPにてご確認の上奮ってお申込みください

会員の皆様へお願い

ZoomのカメラはONに

研修部担当理事 渡邊基起

Web会議システム「Zoom」が普及して1年ほど経過し、世間はだいぶ「Zoom慣れ」してきました。これまで参加が難しかった遠方の研修会などにも気軽に参加でき、移動の時間を短縮できます。開催時間にも融通が利き、これまでの「現地開催」にはなかった様々なメリットを感じています。一方で、セキュリティの脆弱性がデメリットとして指摘されており、情報を保護するには運営方法の工夫で対策をとらなくてはなりません。また、現地とは異なり不正の管理が容易ではありません。研修班ではその対策として ①身元を明らかにする(氏名・所属・会員番号を明記)ことに加えて、②講演中のカメラを見える設定にしておく、という2つをお願いしています。

具体的に懸念される不正には ①盗撮・盗用(ビデオカメラやスマートフォンを使用して画面越しに撮影する)、②なりすまし(ある人が別の人を詐称して研修会に参加する)、③複数人での受講(1台のモニターを共有し、申し込みをしていない知り合いなどの複数人で受講する)、④長時間の離席(実際には出席していない)、などです。顔が見えない研修会では、講師の先生は盗撮・盗用の不安から講演内容の出し惜しみをしてしまいます(①のリスク)、全く関係のない部外者が侵入し、個人情報などを収集していくかもしれません(②のリスク)。また、受講費を浮かすために非会員が知り合いの会員の名前で参加したり、複数人で分割したりもありえます(②と③のリスク)。生涯学習ポイント付与の観点から、出席を確認する必要があります(④)。

研修会を運営する側としてこうした不正を的確に管理する工夫として、講演中のカメラはONにさせていただきたいのです。自身のパソコンにカメラが付いていない方には準備のご負担をかけることとなりますし、カメラに顔が映ることに抵抗感がある方もいると思います(私がそうで、特に参加者が多いと緊張します)。しかし、先に述べたメリットもあることから、これから新しい生活様式としてweb会議システムを利用した研修会は定着していくと思います。安心・安全で信頼のある研修会の開催に努力してまいります。受講する側にも心構えが必要です。参加者の皆様にはご負担をおかけしますが、あらかじめZoom環境の準備をしていただき、「Zoomリテラシー」としてカメラはONをお願いします。

(文責 高橋裕介)

会長のうごき

- 1.23 第2回秋田県リハビリテーション共育研修会参加 (Web)
- 1.26 協会名誉会員推薦にかかる3役会議/特別研修会参加 (Web)
- 2.9 運動器研究班主催Webセミナー参加 (Web)
- 2.14 地域支援人材育成プログラム(医療機器開発支援人材育成セミナー)参加 (東京Web)
- 2.15 JCORE評価員 教育評価説明会参加 (東京Web)
- 2.17 第6回理事会参加 (Web)
- 2.19 令和2年度 第2回アンチ・ドーピング定期研修会参加 (東京Web)
- 2.20 日本理学療法士連盟通常総会・研修会参加 (東京Web)
- 2.21 地域支援人材育成プログラム(地域セミナー)参加 (東京Web)
- 2.24 秋田県スポーツ振興課からの意向に関する3役会議
- 2.24 小児支援班主催研修会参加 (Web)



Cartoon by MomentCam

ニュース編集班より

いつも有難うございます。ニュース編集班班長の加賀屋です。秋田県理学療法士会ニュース、通称PTニュースは次号で200号を迎えます！そしてこの記念すべき200号から大きくリニューアルします！どんな変化を遂げるかお楽しみに！

引き続きニュース掲載記事のご相談をお待ちしております。次回ニュースの原稿締め切りは3月20日(土)です。宜しくお願い致します。

連絡・送付先：akita.ptnews@gmail.com

問い合わせ先：秋田県立循環器・脳脊髄センター 機能訓練部 加賀屋勇氣

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104 E-mail：kagaya-yuki@akita-hos.or.jp

学校法人 コア学園

秋田リハビリテーション学院

厚生労働大臣指定・秋田県知事認可

平成27年4月開校
秋田県初！
理学療法士養成専門学校

理学療法学科

4年課程

40名定員



〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80
TEL 018-855-0188 FAX 018-854-6137 URL <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>

●応援します! 医療と福祉を確かな技術で

有限会社 共栄メディカル

●社会医療機関 ●理化学部 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●訪問診療機 ●業務用洗濯機

〒014-0102 秋田県大仙市四ッ屋字水本田33
〒010-0964 秋田市八橋鮎沼1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123 (代)
FAX 0187-66-2139
☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 池ヶ谷 敏之

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2
Tel.018-839-3551代 Fax.018-839-3546

横手営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大道向2-4
Tel.0182-32-8311代 Fax.0182-32-8313

能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上蓋谷地189番
Tel.0185-52-0024代 Fax.0185-54-7319

有限会社 秋田ブレース

義肢 装具 コルセット 車椅子各種杖


〒019-2621
秋田県秋田市河辺諸井字野田96-5
TEL/FAX 018-882-2116

患者さんの
Quality of Lifeの向上が
テイジンの理念です。



TEIJIN

帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社
〒100-8585 東京都千代田区豊が岡3丁目2番1号
FAD DKKINAC ITR11201



(社)日本義肢協会
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183

支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347

〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

一般社団法人日本義肢協会加盟・東北101号



株式会社 千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22

TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126

<http://www.sensyu-gishi.co.jp>